

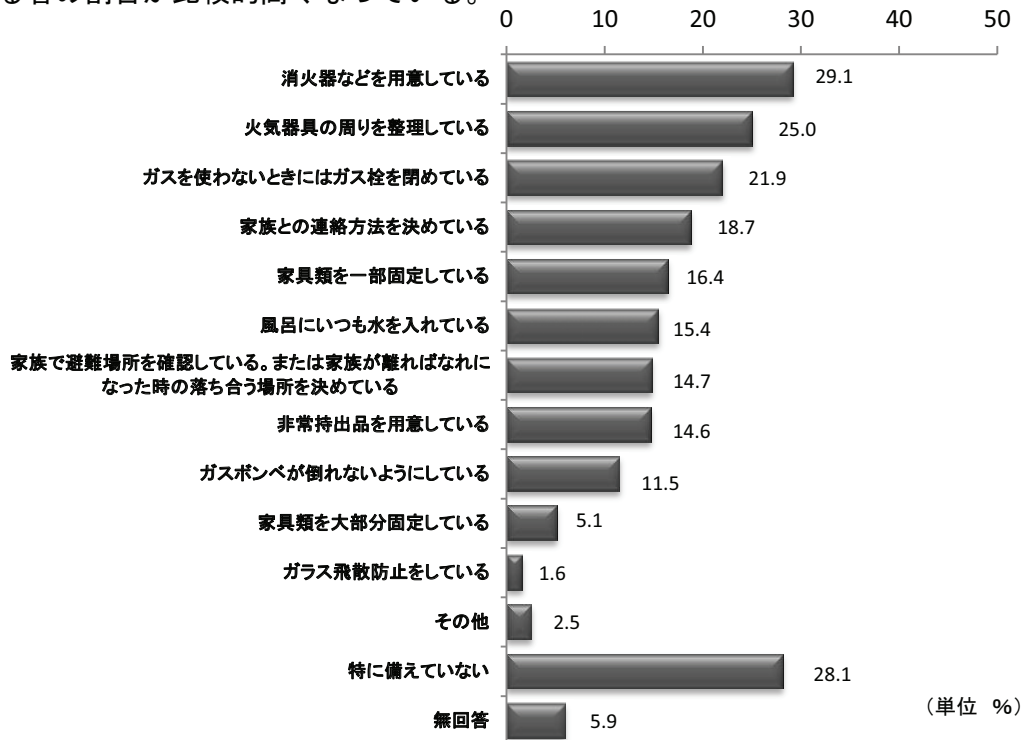
11. 防災

(1) 家庭で行っている災害対策

問 30 災害に備えてあなたの家庭で行っていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

災害に対して「特に備えていない」が約3割

災害に対して「特に備えていない」者が約3割を占めている。何らかの備えをしている者は、「消火器などの用意」「ガス栓を閉めている」などの災害に対する備えをしている者の割合が比較的高くなっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「消火器などを用意している」が、備後生活圏、備北生活圏では35%を超えているのに対して、広島生活圏では26.1%と低い。

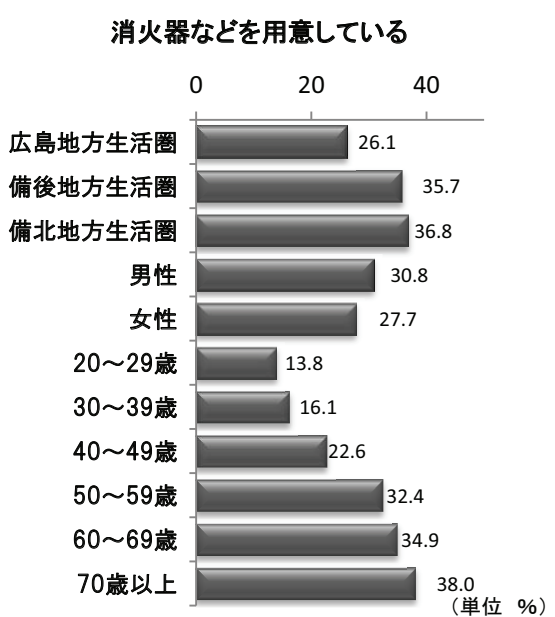
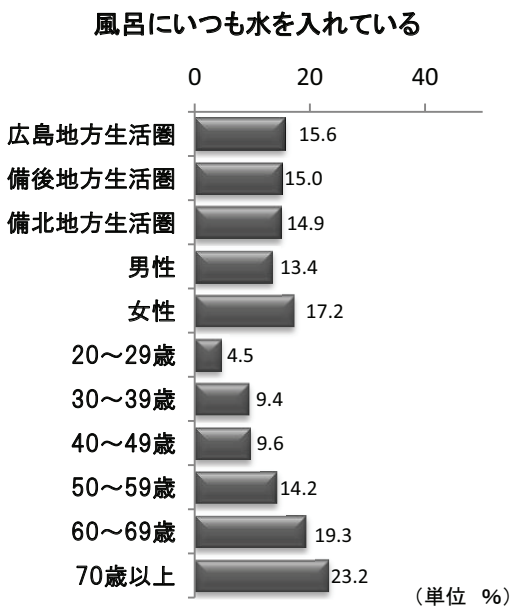
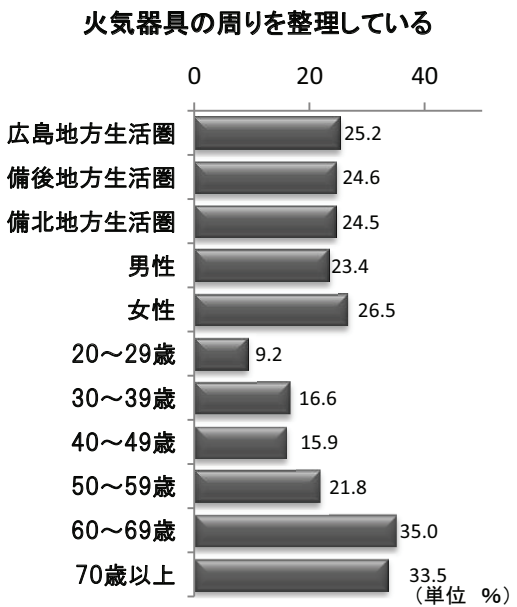
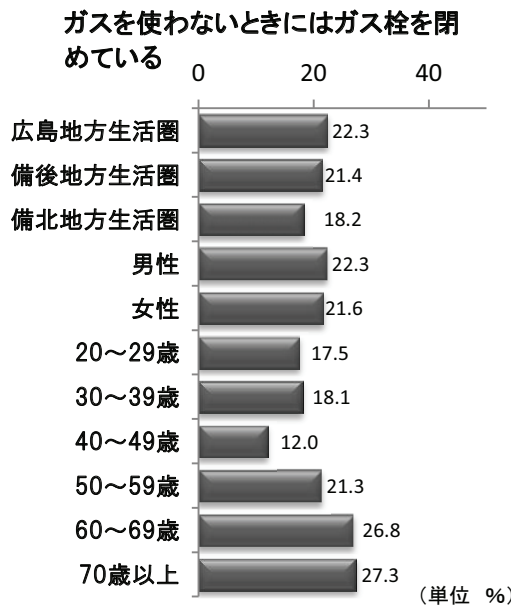
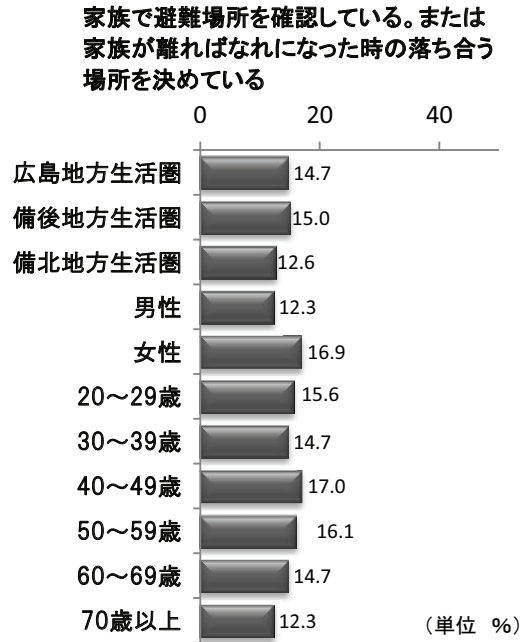
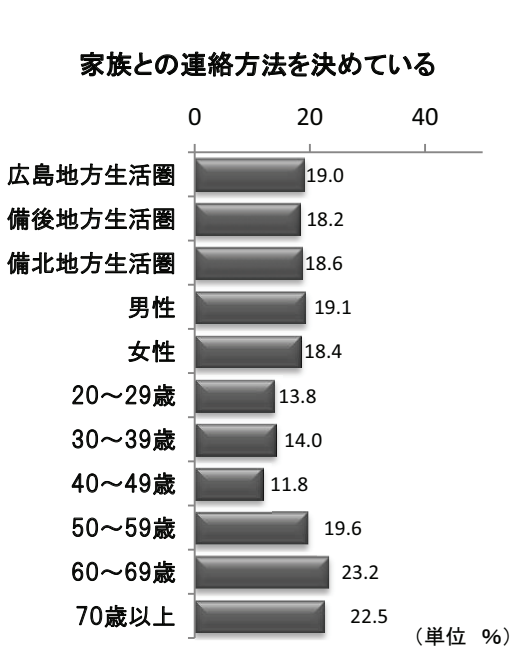
【性別】

「家族で避難場所を確認している。または家族が離ればなれになった時の落ち合う場所を決めている」については、女性が男性に対して、4.6ポイント高い。

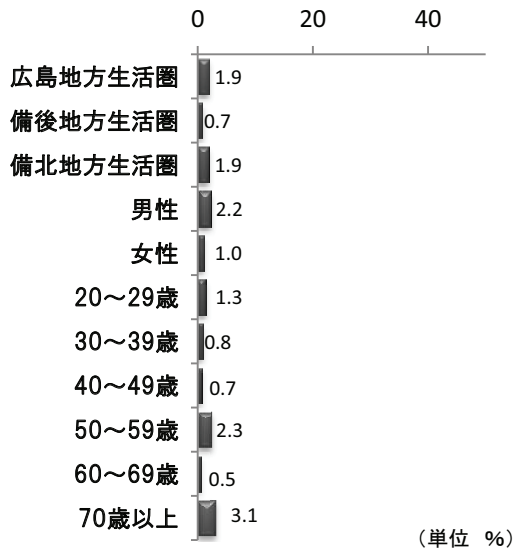
【年代別】

20歳代では、「特に備えていない」が41.1%と最も高く、年代が高くなるほど率が下がり70歳以上では17.7%と最も低く、23.4ポイントの差がある。

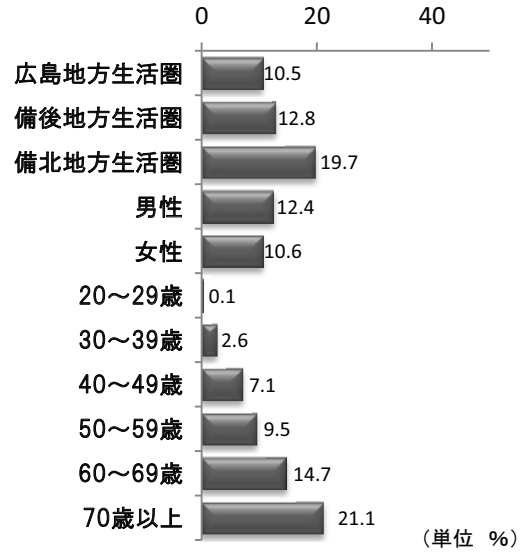
家庭で行っている災害対策(生活圏, 性, 年代別)



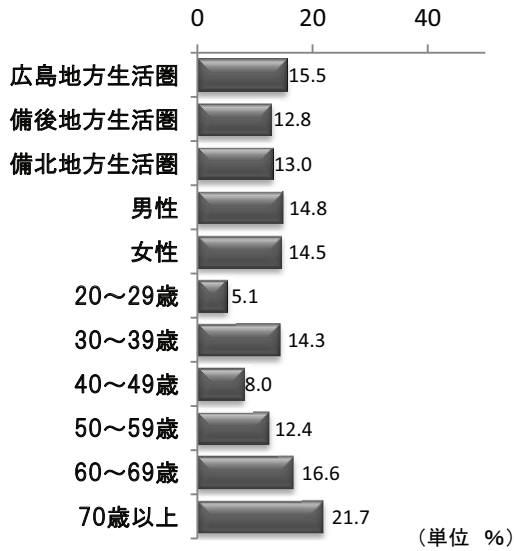
ガラス飛散防止をしている



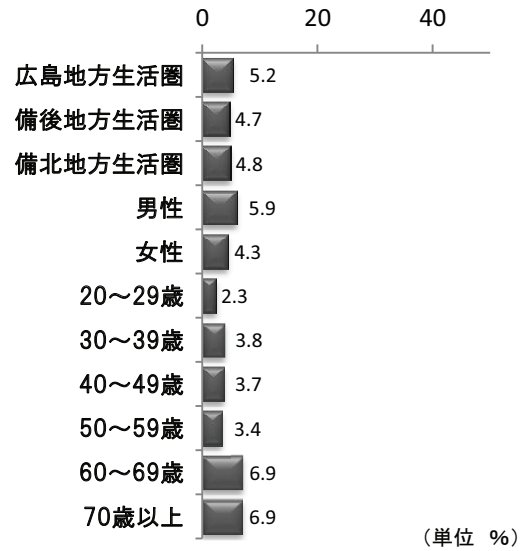
ガスボンベが倒れないようにしている



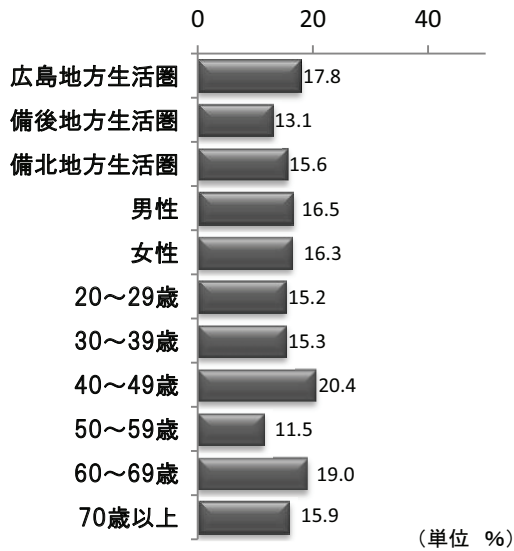
非常持出品を用意している



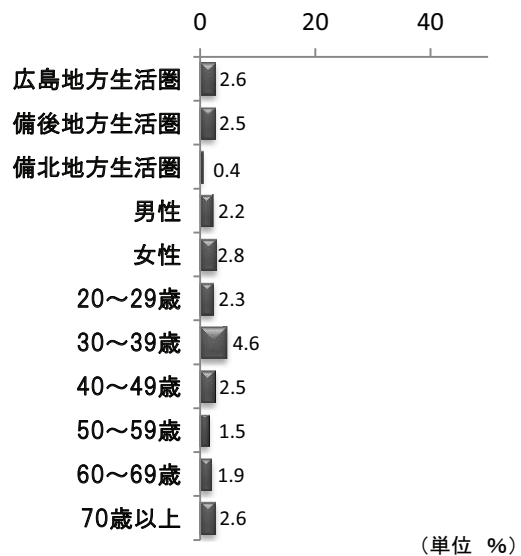
家具類を大部分固定している



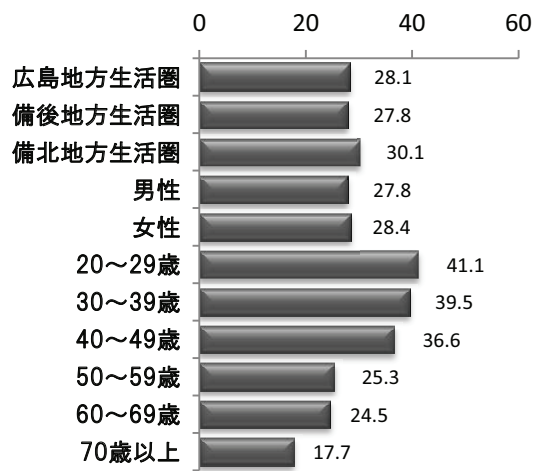
家具類を一部固定している



その他



特に備えていない

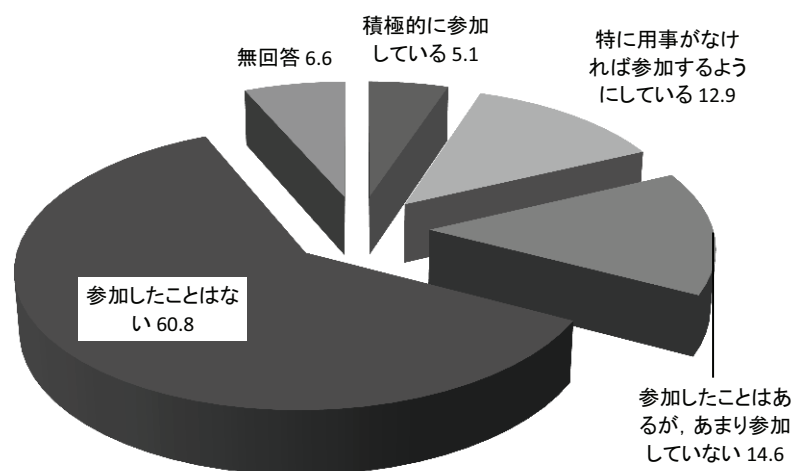


(2) 自主防災組織の活動への参加

問 31 地域の自主防災組織の活動（防災訓練など）に参加していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

「参加したことはない」が6割

「参加したことはない」が60.8%と一番多い。一方で「積極的に参加している」「特に用事がなければ参加するようにしている」を合わせた18%が比較的積極的に自主防災組織の活動に参加している。



(単位 %)

<属性による比較>

【生活圏別】

何かしらの形で参加したことがあるのは、備後生活圏で35.5%であり最も高い。逆に、最も低いのは広島生活圏で、31.5%である。

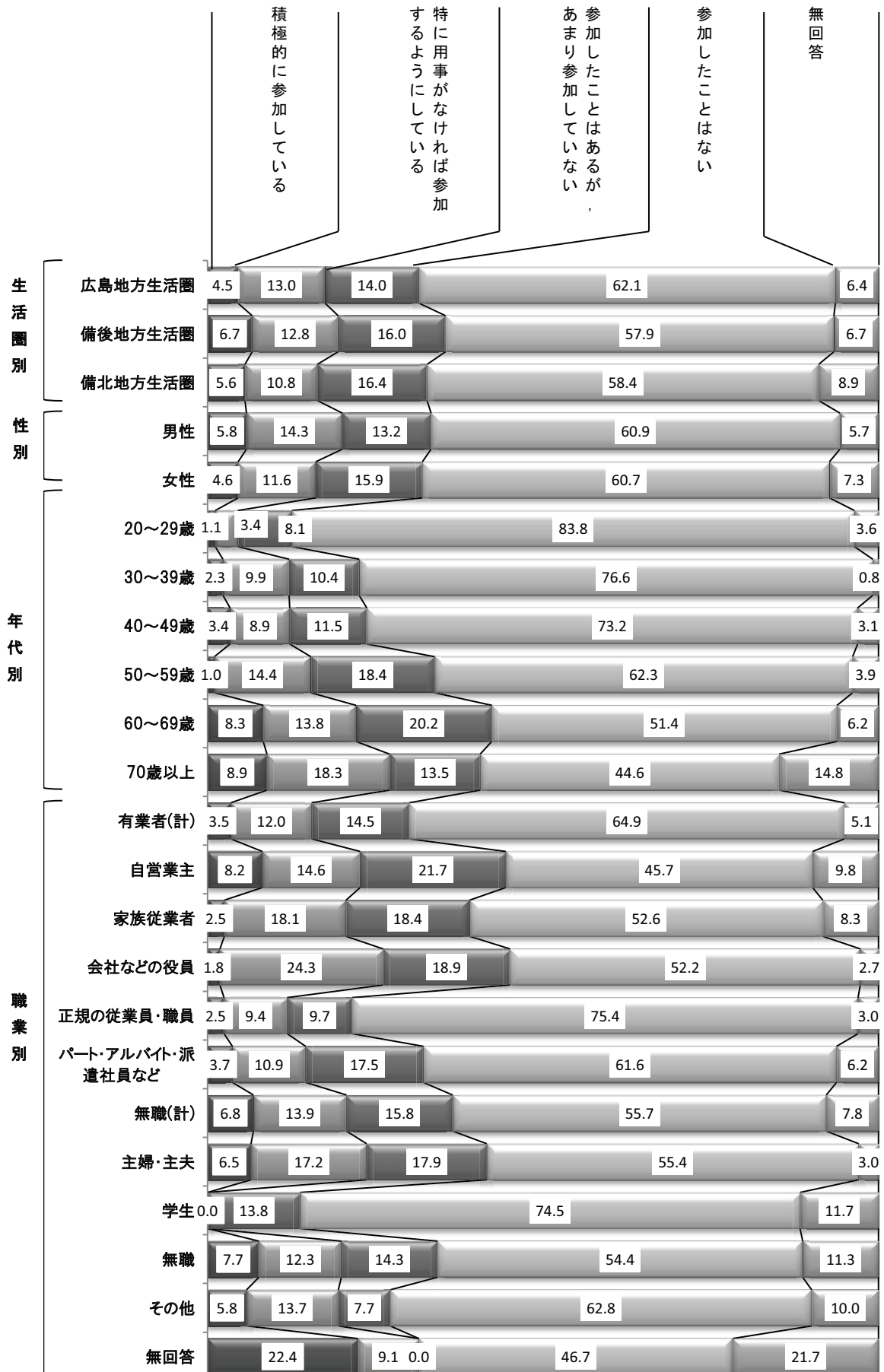
【職業別】

「積極的に参加している」については、自営業主（8.2%）と無職（7.7%）で高い割合になっている。一方、「参加したことはない」については、正規の従業員・職員（75.4%）と学生（74.5%）で高い割合になっている。

【年代別】

「参加したことはない」が20代（83.8%）、30代（76.6%）と最も高いのに対して、70歳以上は、44.6%となっており、年齢が進むにつれて、参加経験の割合は上がっている。特に、60歳代・70歳以上については、「積極的に参加している」の割合が他の年代に対して、顕著である。（60歳代 8.3% 70歳以上 8.9%）

自主防災組織の活動への参加(生活圏, 性, 年代, 職業別)



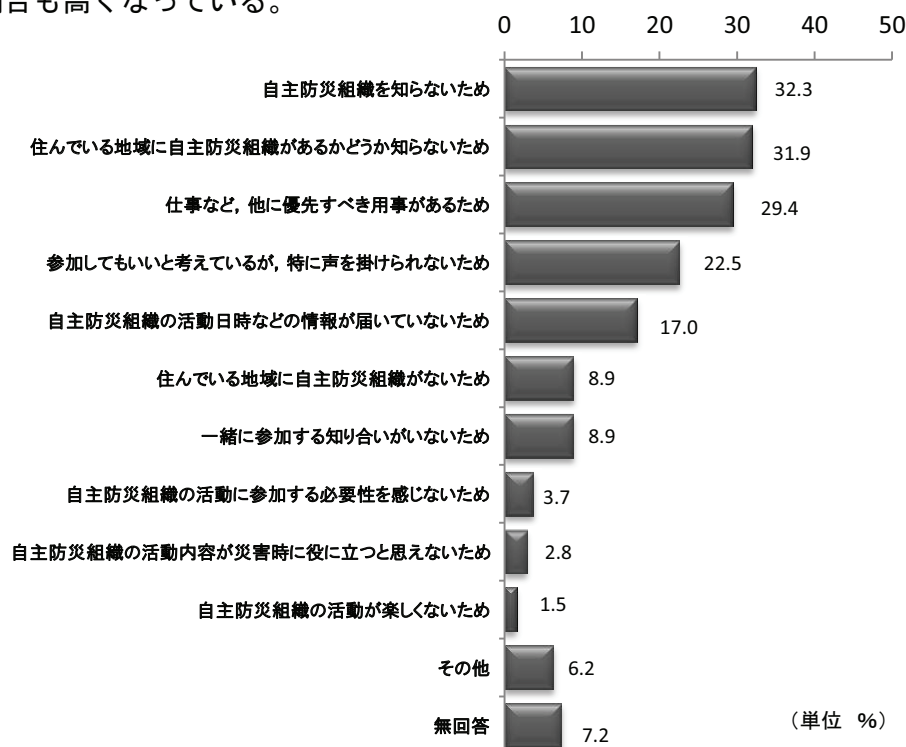
(単位 %)

(3) 参加していない理由

問32 問31で「参加したことはあるが、あまり参加していない」または「参加したことはない」を選択された方にお伺いします。(N=5,784) 自主防災組織の活動に参加していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

自主防災組織の認知不足がトップ

「自主防災組織を知らないため」が32.3%と一番多いほか、「仕事など、他に優先すべき用事があるため」や「参加してもいいと考えているが、特に声を掛けられないため」の割合も高くなっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「自主防災組織を知らないため」は、備後生活圏が34.0%と最も高い。

「住んでいる地域に自主防災組織がないため」は、備北生活圏が17.9%と、他の生活圏に対して、割合が顕著である。

【職業別】

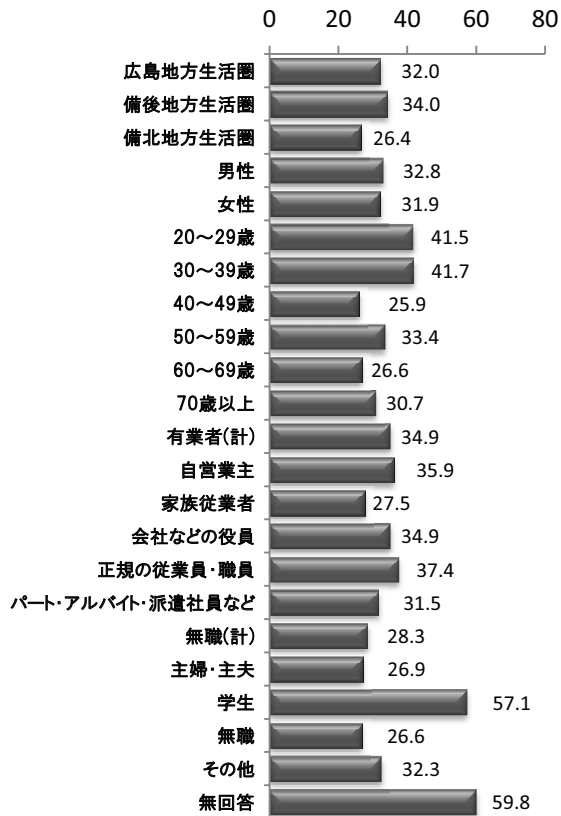
「参加してもいいと考えているが、特に声を掛けられないため」については、主婦・主夫(28.3%)、無職(26.0%)、自営業主(24.6%)で高い割合になっている。

【年代別】

「自主防災組織を知らないため」については、20歳代が41.5%、30歳代が41.7%と他の年代に対して顕著である。

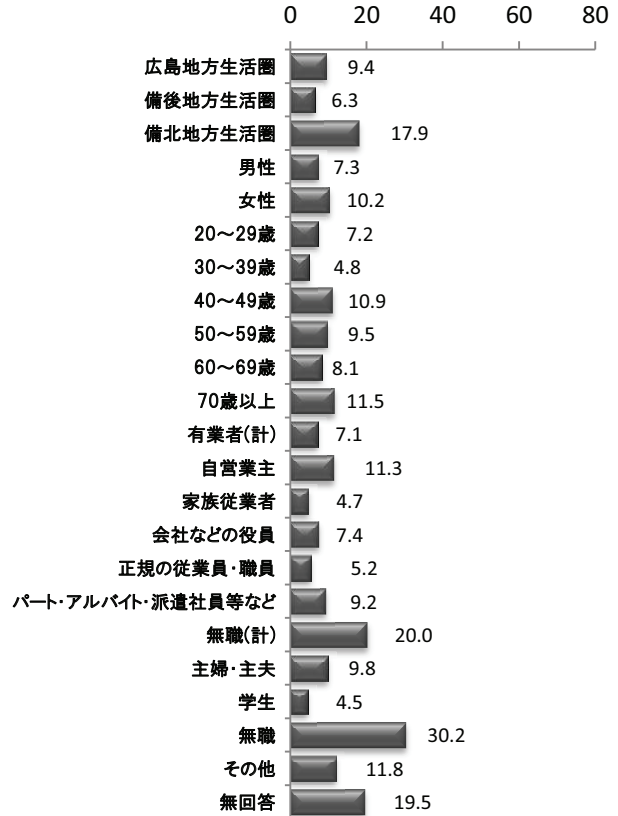
参加していない理由(生活圏, 性, 年代, 職業別)

自主防災組織を知らないため



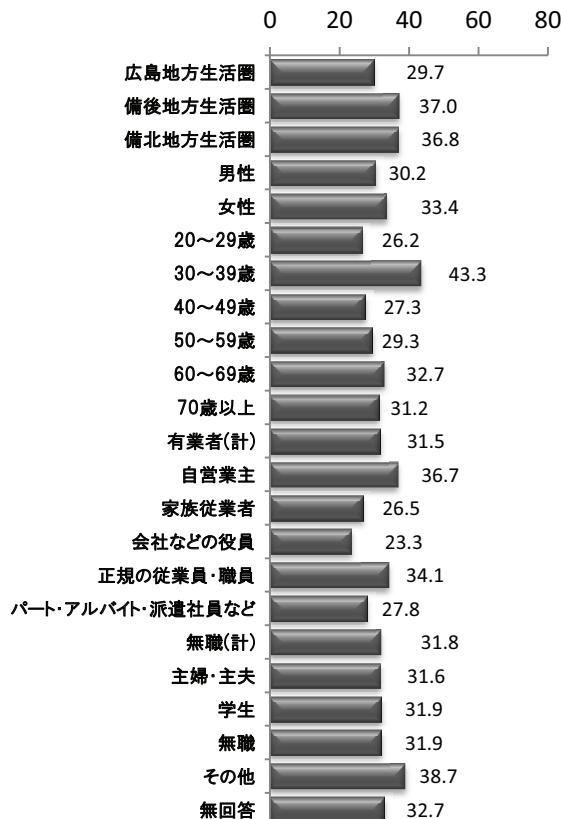
(単位 %)

住んでいる地域に自主防災組織がないため



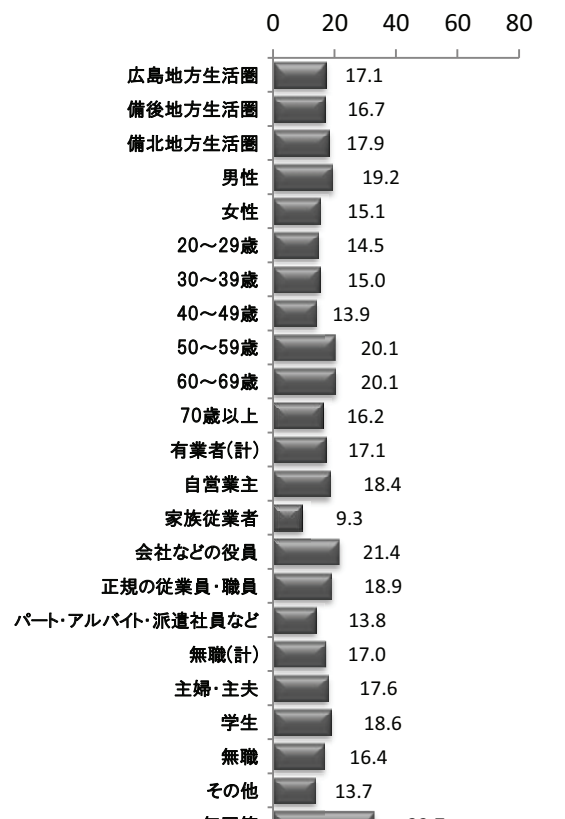
(単位 %)

住んでいる地域に自主防災組織があるかどうか知らないため



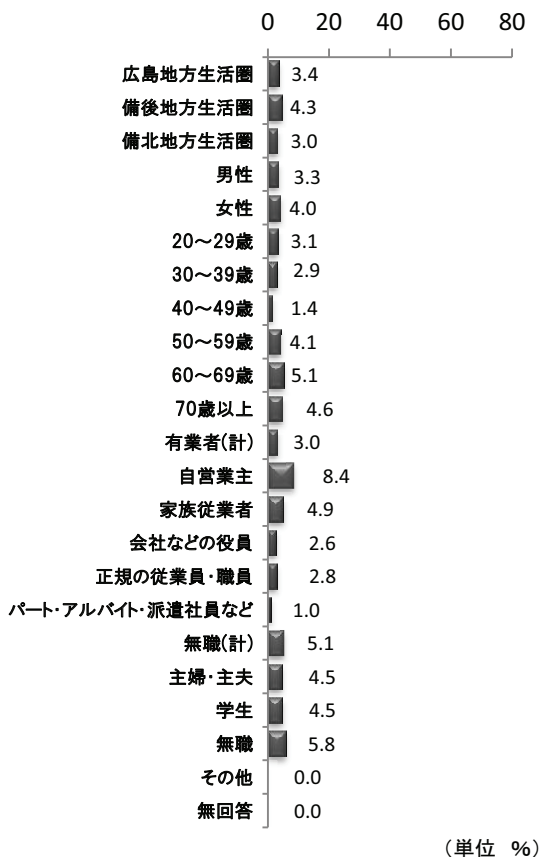
(単位 %)

自主防災組織の活動日時などの情報が届いていないため

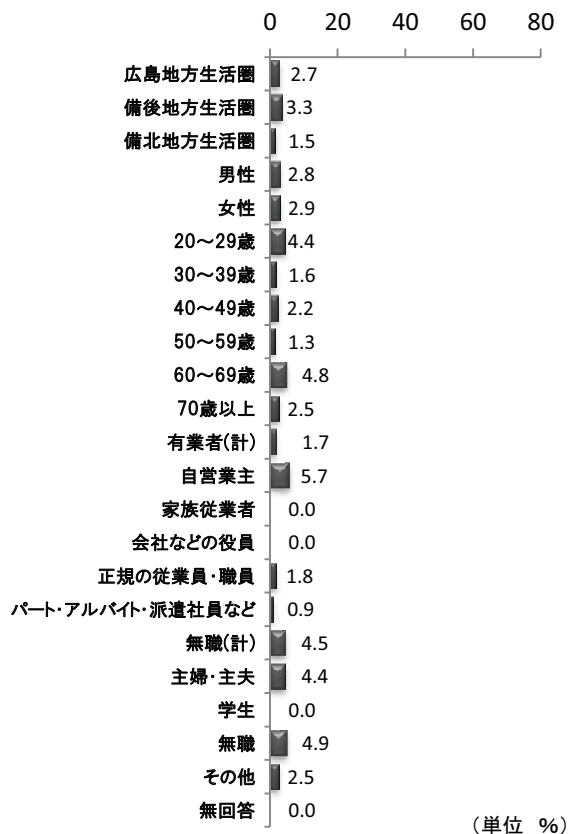


(単位 %)

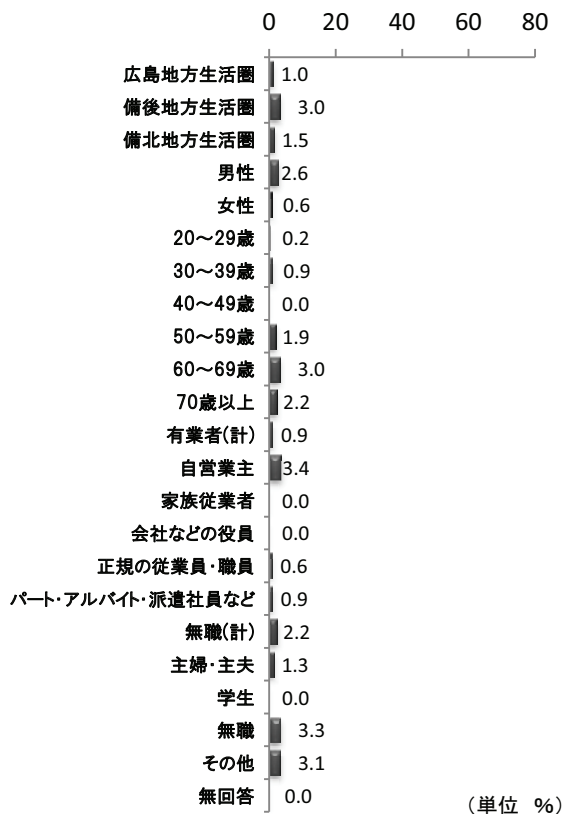
自主防災組織の活動に参加する必要性を感じないため



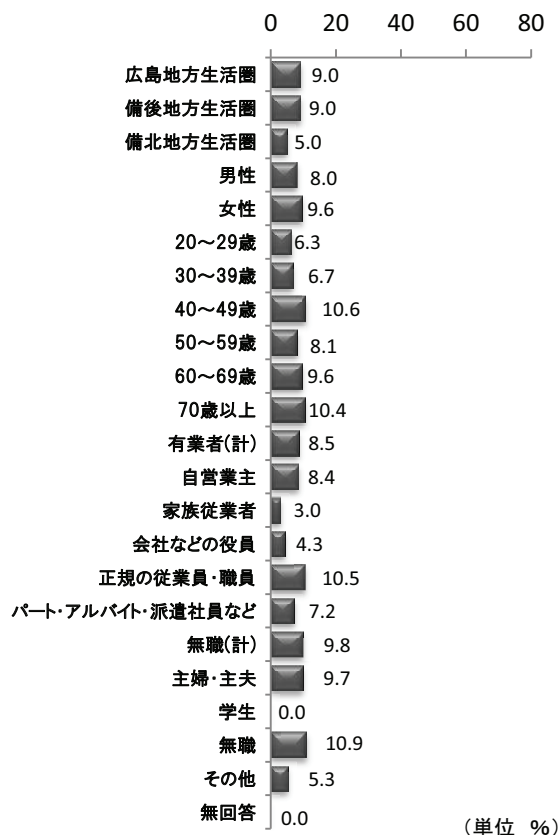
自主防災組織の活動内容が災害時に役に立つと思えないため



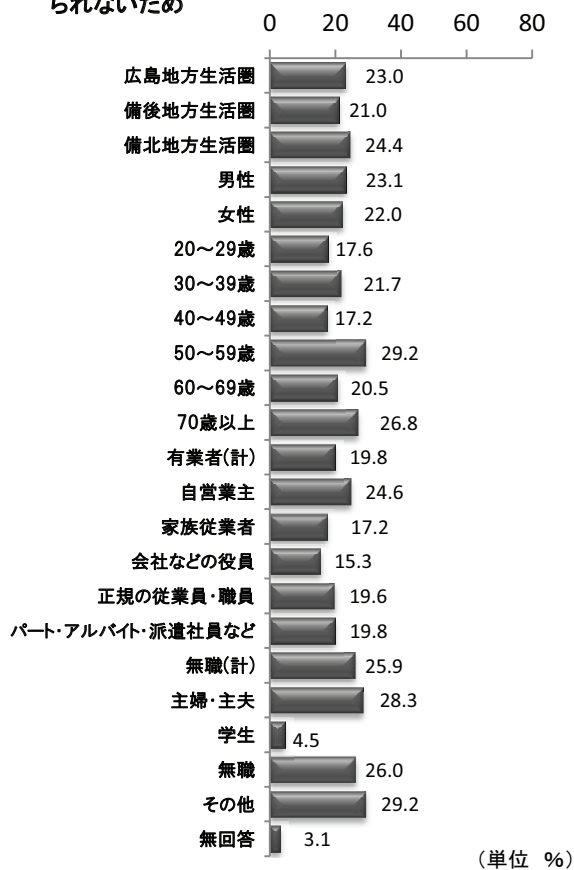
自主防災組織の活動が楽しくないため



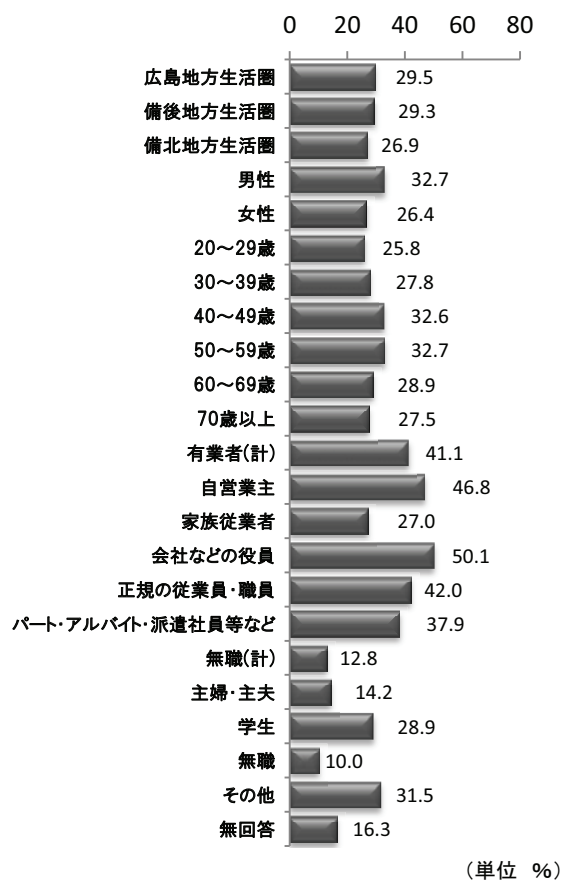
一緒に参加する知り合いがいないため



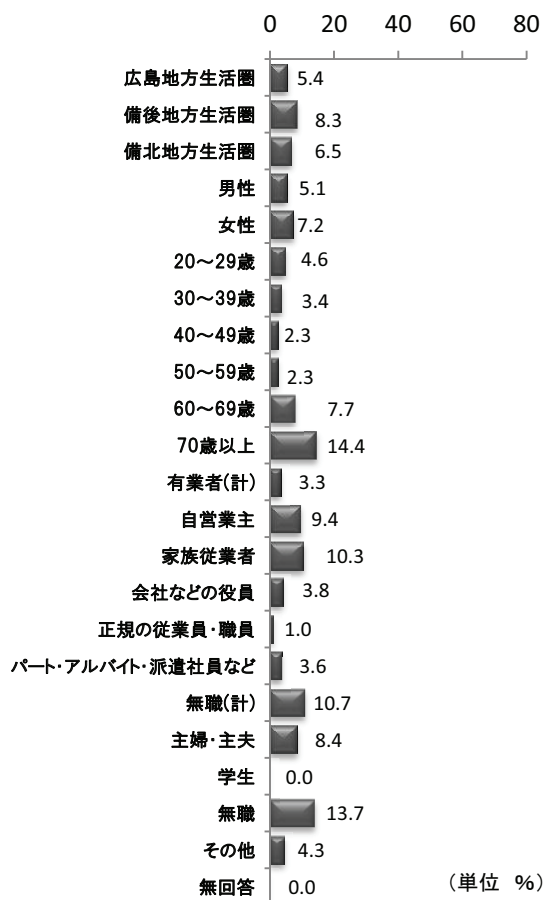
参加してもいいと考えているが、特に声を掛けられないため



仕事など、他に優先すべき用事があるため



その他



(4) 耐震改修について気になること

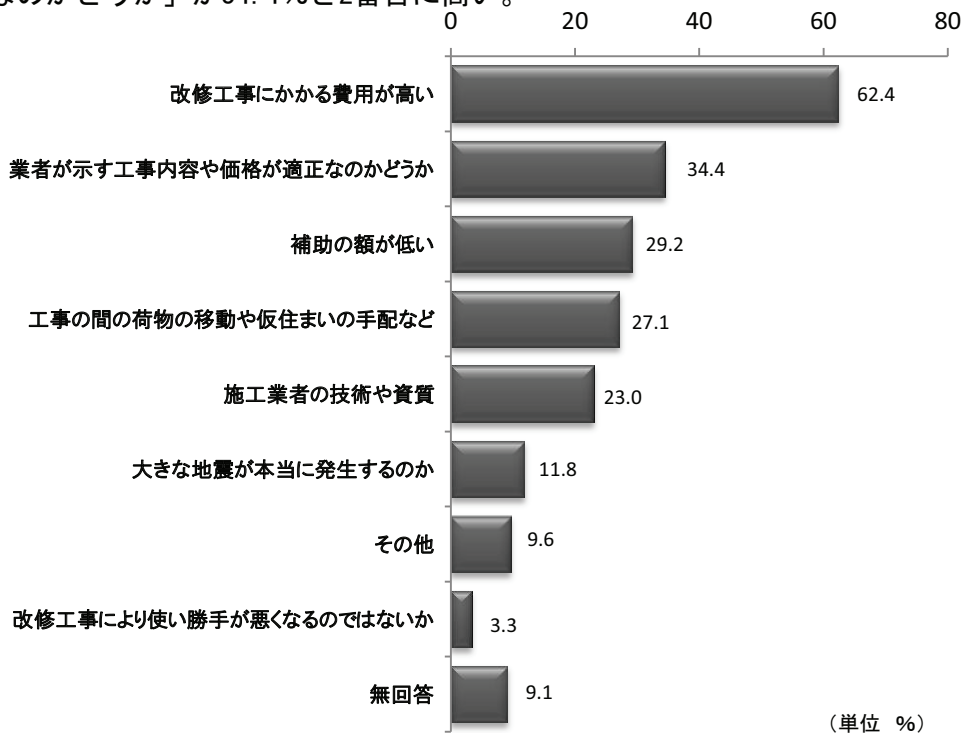
問 33 あなたが今お住まいの住居を耐震改修するとしたら、どのようなことが気になりますか。気になることを3つ以内で選んでください。(M. A.)

耐震改修工事の費用は、平均で150万円程度となっています。市町によっては、耐震改修の補助制度を設けているところもあります。(上限30万円)

また、改修工事費の10%は、所得税の税額控除を受けられます。

経済的問題が一番気になる

「改修工事にかかる費用が高い」が62.4%と最も高く、業者が示す工事内容や価格が適正なのかどうか」が34.4%と2番目に高い。



<属性による比較>

【生活圏別】

「改修工事にかかる費用が高い」が広島生活圏で62.0%、備後生活圏で64.1%、備北生活圏で57.6%と、すべての生活圏で半数以上を占めている。「大きな地震が本当に発生するのか」については、広島生活圏(9.8%)と備後生活圏(16.5%)・備北生活圏(14.9%)で差がある。

【性別】

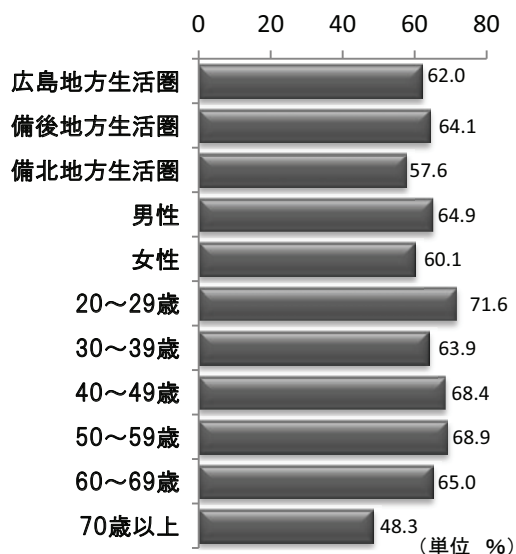
「改修工事にかかる費用が高い」は男性の方が女性に対して、4.8ポイント高い。「補助の額が低い」については、男性が女性に対して、7.4ポイント高い。

【年代別】

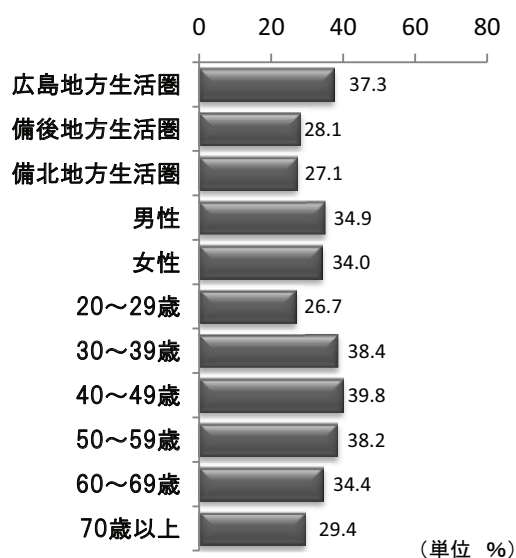
「改修工事にかかる費用が高い」は20~29歳が71.6%と全年代中、唯一70%を超えている。「大きな地震が本当に発生するのか」は、20歳代・30歳代が10.0%を下回っている。

耐震改修について気になること(生活圏, 性, 年代別)

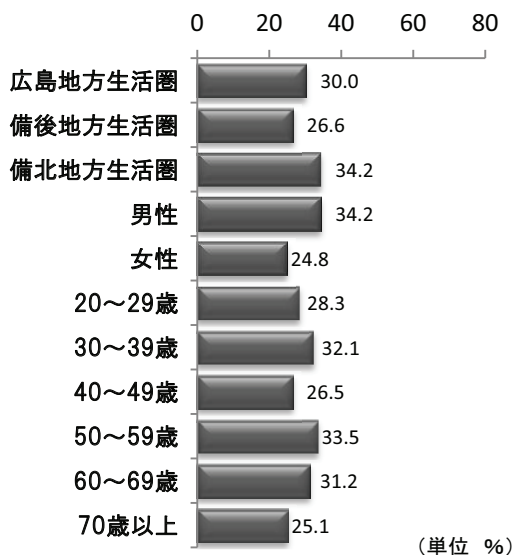
改修工事にかかる費用が高い



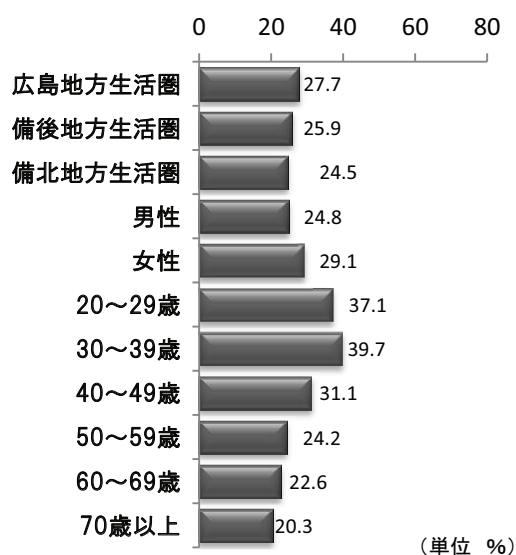
業者が示す工事内容や価格が適正なのかどうか



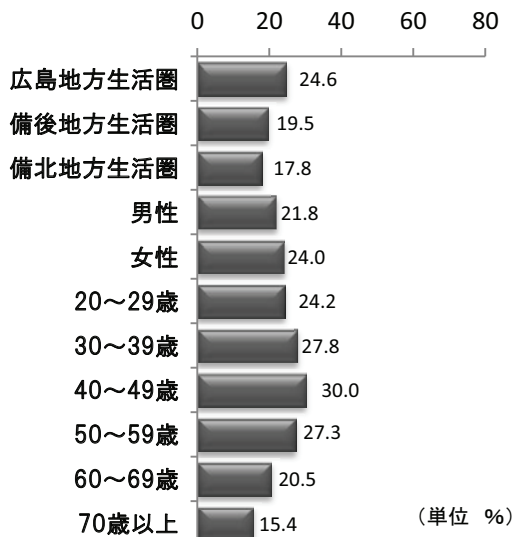
補助の額が低い



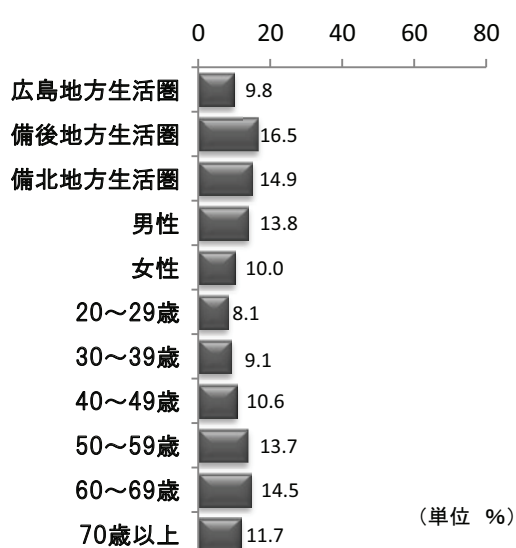
工事の間の荷物の移動や仮住まいの手配など



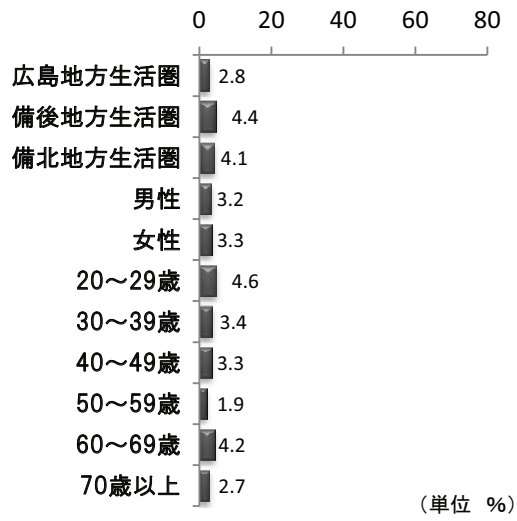
施工業者の技術や資質



大きな地震が本当に発生するのか



改修工事により使い勝手が悪くなるのではないか



その他

